



## 試験報告書

試験番号 JNLA2020K0146

発行日 2020年 7月 3日

〔依頼者〕 豊島株式会社  
〔所在地〕 東京都千代田区神田岩本町2-1  
〔受付日〕 2020年 6月 1日

一般財団法人 ボーケン品質評価機構  
**BOKEN** 機能性事業本部  
大阪機能性試験センター  
役職名 課長 氏名 伊藤智樹  
大阪市港区築港1丁目6番24号  
TEL 06-6577-0200  
FAX 06-6577-0210

〔依頼試料〕  
No. 品種、品名及び品番 1点  
1. Repur-p 綿100%

〔特徴、状態〕  
特になし

〔サンプリング〕  
依頼者によるサンプリング

〔試験項目〕  
抗菌性試験

〔試験方法及び条件〕  
JIS L 1902 繊維製品の抗菌性試験方法及び抗菌効果  
箇条8.1 菌液吸収法による  
定量方法:混釈平板培養法  
試験片の滅菌方法:オートクレーブ  
培養時間:18時間

〔試験菌株〕  
黄色ぶどう球菌 *Staphylococcus aureus* NBRC 12732  
肺炎桿菌 *Klebsiella pneumoniae* NBRC 13277  
M R S A Methicillin resistant *Staphylococcus aureus* IID 1677

〔試験前処理方法〕  
洗濯方法は、(一社)繊維評価技術協議会「SEKマーク繊維製品の洗濯方法」—  
高温加速洗濯法  
※試験前処理方法は繊維評価技術協議会の洗濯方法であるため、JNLA認定範囲外である。

〔特記事項〕  
界面活性剤(Tween80)0.05%を添加した試験菌液を使用した。



[試験結果]

黄色ぶどう球菌			
接種菌液濃度	1.2 × 10 <sup>5</sup>		CFU/mL
標準綿布	生菌数の常用対数値		増殖値[F]
	logC <sub>0</sub>	4.40(0.07)	2.8
	logC <sub>t</sub>	7.20(0.11)	
		生菌数の常用対数値	抗菌活性値[A]
Repur-p 綿100% 洗濯 0 回	logT <sub>0</sub>	1.30(0.00)	5.9
	logT <sub>t</sub>	1.30(0.00)	
" " 洗濯 50 回	logT <sub>0</sub>	4.32(0.14)	5.9
	logT <sub>t</sub>	1.30(0.00)	

肺炎桿菌			
接種菌液濃度	1.2 × 10 <sup>5</sup>		CFU/mL
標準綿布	生菌数の常用対数値		増殖値[F]
	logC <sub>0</sub>	4.38(0.06)	3.2
	logC <sub>t</sub>	7.53(0.03)	
		生菌数の常用対数値	抗菌活性値[A]
Repur-p 綿100% 洗濯 0 回	logT <sub>0</sub>	1.30(0.00)	6.2
	logT <sub>t</sub>	1.30(0.00)	
" " 洗濯 50 回	logT <sub>0</sub>	4.26(0.12)	5.8
	logT <sub>t</sub>	1.78(0.60)	

本試験結果はご提出の試料に対するものであって、荷口を代表するものではありません。  
 本報告書の全部または一部の無断転載・転用は固くお断りします。  
 公印の無い報告書は正式なものではありません。



MRSA			
接種菌液濃度	1.4 × 10 <sup>5</sup> CFU/mL		
標準綿布	生菌数の常用対数値		増殖値[F]
	logC <sub>0</sub>	4.46(0.17)	2.5
	logC <sub>t</sub>	6.93(0.06)	
		生菌数の常用対数値	抗菌活性値[A]
Repur-p 綿100% 洗濯 0 回	logT <sub>0</sub>	1.30(0.00)	5.6
	logT <sub>t</sub>	1.30(0.00)	
" " 洗濯 50 回	logT <sub>0</sub>	4.30(0.23)	5.6
	logT <sub>t</sub>	1.30(0.00)	

[試験実施日] 2020年 7月 3日

[試験実施場所] 大阪機能性試験センター 抗菌試験室(B棟2階)

[備考] 生菌数の常用対数欄の( )内の数値は3検体間の最大と最小差を示す。

抗菌活性値[A] = (logC<sub>t</sub>-logC<sub>0</sub>) - (logT<sub>t</sub>-logT<sub>0</sub>)

\*logC<sub>0</sub>>logT<sub>0</sub>を満たした場合は、logT<sub>0</sub>をlogC<sub>0</sub>に置き換えて抗菌活性値を計算した。

JIS L 1902 において抗菌効果は下記の通り定められている。

「繊維製品の抗菌効果は、菌液吸収法により試験したとき、抗菌活性値2.0以上とする。」

[提出試料]

**BOKEN BOKEN**

本試験結果はご提出の試料に対するものであって、荷口を代表するものではありません。

本報告書の全部または一部の無断転載・転用は固くお断りします。

公印の無い報告書は正式なものではありません。



\*20320000146\*